

八重山観光MaaS推進プロジェクト

～地域の全公共交通機関、複数事業者・モードがパッケージされたフリーパス型観光MaaSの発展的取組～

仲西 健 (内閣府沖縄総合事務局経済産業部 地域経済課)、神谷 大介 (琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース准教授)、山崎 里仁 (一般社団法人 沖縄オーブンラボラトリー理事)、我那覇 宗広、綿貫 周平、飯田 見子 (一般社団法人 八重山ビジネスビューロー)、結川 昌憲、大橋 弘明、富田 寛朗、下地 征徳 (ジオルダン株式会社)、佐藤 貴行、岸本 太幹、浅井 慶人、下地 沙也加 (株式会社オリエタルコンサルタンツ沖縄支社)

プロジェクト概要

- 沖縄県八重山圏域は石垣島内を路線バス2社が運行、各離島の航路も2社が定期航路の運航。複数事業者が同一区間を運行するなど、観光客は選択肢の判断が事前に難しい面があり、「よくわからないし、都度の支払いは手間だし、不安だから」とレンタカーを借りる観光客も多く、結果、レンタカーの利用率が高い現状がある。
- このような背景から令和4年度より八重山観光MaaS推進プロジェクトを開始。八重山圏域内の全公共交通機関(路線バスと離島船舶・全6事業者)に制約なく乗車・乗船可能なMaaSモバイルチケットを展開。OD等々のデータによる効果検証により域内での観光振興・活性化効果を確認。
- 令和5年4月、MaaSに参画した路線バス・離島船舶6事業者を中心に、交通と観光の課題に対応と協調領域の取組促進を図るため、「八重山観光・交通コンソーシアム」を発足。

【八重山圏域の交通環境】
(令和5年10月時点)



【令和5年度のチケット構成】

石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船) → 圏域内の主な移動手段として利用

対象交通事業者	石垣島経路/バス	東運航およびカリー観光	石垣島内の全高橋バス
離島間定期航路	安楽観光	八重山観光フェリー	石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島・鳩間島の全定期航路(波間島船橋航路は基本フリーパス対象外)
離島内バス等	西表島交通	西表島交通	西表島内の高橋バス
離島内船	船浮海運	船浮海運	西表島内の白浜～船浮間の定期航路

券種	2日券 (48時間+6時間)	3日券 (72時間+6時間)	4日券 (96時間+6時間)	備考 (期間等)
通常期	7,500円	9,500円	10,500円	10.12(木)～11.30(木) 12.29(木)～1.31(木)
お得期	6,500円	8,500円	9,500円	12.1(金)～12.27(木) 1.4(土)～1.31(木)

オプション: 交通拡充+観光アクティビティとの連携

オプション	料金
竹富島入島料	900円 (乗車1回)
竹富島入島料	300円 (乗車1回)
レンタサイクル(黒島)	1,300円 (1日)
仲間川クルーズ	2,400円
黒島水牛車&入園	1,900円

【八重山観光・交通コンソーシアムの参画企業・団体】



【MaaSモバイルチケット】



ジオルダン社のモバイルチケットのプラットフォームを活用

- 本稿で報告する令和5年度の八重山MaaSでは、これまでの取組に対して、【①交通事業者の拡充、観光アクティビティとの連携を強化】するとともに、【②料金の検証(全体的に値引きをおさえ、定期的・エリア的繁閑価格の設定)】等を行うことで、地域で自走可能なMaaSの仕組みと体制を確立し、地域の全公共交通機関、複数事業者・モードがパッケージされたフリーパス型観光MaaSのモデルケースとすることを目指し取組を実施。

実証販売結果

実証期間: 令和5年10月12日から令和6年1月31日

区分	販売枚数	販売金額	(割合)
1.MaaSチケット合計	610	¥4,508,600	92%
(1)うち、石垣・西表周遊フリーパス	548	¥4,174,850	85%
(①通常期)	197	¥1,682,250	34%
(②お得期)	351	¥2,492,600	51%
(2)うち黒島・石垣北部周遊トクトパス	62	¥333,750	7%
2.オプション延べ	288	¥415,600	8%
3.合計	—	¥4,924,200	100%

【石垣・西表周遊フリーパス枚数内訳】

区分	2日券	3日券	4日券	計
通常期	113	43	41	197
お得期	214	79	58	351
計	327 (60%)	122 (22%)	99 (18%)	548 (100%)

【オプション枚数内訳】

区分	枚数	フリーパス購入者(548名)に対する購入率
竹富島入島料	87	16%
竹富島交通	13	2%
黒島レンタサイクル	13	2%
仲間川マングローブクルーズ	60	11%
由布島水牛車&入園料	115	21%
計(延べ枚数)	288	—

アンケート結果

利便性と安心が評価され、周遊が促進。レンタカー利用が2割減。路線バスの利用が3割増。

本チケット購入者に対し、アンケート調査を実施(メールにより配信・150件回収)、比較として未購入者に対してもアンケートを実施(離島ターミナルにて実施・177件回収)

利用した交通手段	チケット購入者	チケット未購入者	差分
路線バス	93.3	65.1	28.2
船舶	90.0	80.6	9.4
自転車	50.7	35.4	15.3
レンタカー	34.0	52.0	-18.0
ホテル送迎バス	16.0	32.0	-16.0
タクシー	15.3	23.4	-8.1
バイク	9.3	7.4	1.9
カーシェア	2.7	1.7	1.0
その他	10.1	8.0	2.1

料金の検証等

取組① 定期的な繁・閑価格の設定の影響

通常期(繁忙期) 価格	お得期(閑散期) 価格	お得期は通常期より
2日券単価: 7,500円	2日券単価: 6,500円	1日平均 4枚多く購入
1日平均 3.2枚購入	1日平均 7.2枚購入	

⇒ 閑散期の価格設定が購入のきっかけになったと推察

取組③ チケット料金の値上げの検証

- ⇒ 定価より1割引程度を狙いR4より値上げ(2,000円程度)を行ったが周遊行動が増加したため、結果的に、2割引程度となった。

取組④ 正確なOD取得ロジック・料金分配

- ⇒ 公正な料金分配システムの構築を実施
- ⇒ その基礎となるOD取得の正確性については更なる検証が必要

バス停: ステッカー



船舶: カードリング



- 令和6年7月11日より自走化(ジオルダンモバイルチケットにて販売)



- MaaSモバイルチケットとコンタクトレス決済端末の連携を検討



取組② 誘客促進エリアチケットの検証

誘客促進エリアチケットの導入により、フリーチケットの販売のみより、誘客促進を狙った黒島、石垣の訪問割合が増加、訪問が集中していた竹富島、西表島の割合が低下 ⇒ オーバーツーリズム対策に寄与の可能性

エリア	前年度(2023)訪問割合	フリーパス導入後(2024)訪問割合	差分	備考
石垣島	98.7	97.1	-1.6	
竹富島	71.3	68	-3.3	
西表島	84	45.7	-38.3	
小浜島	51.3	25.1	-26.2	
黒島	39.3	12	-27.3	
鳩間島	14.7	1.7	-13	
波照間島	10.7	13.1	-2.4	
与那国島	6.7	2.3	-4.4	
その他	2.7	2.3	0.4	

誘客促進エリアである黒島が3.9pt増加、訪問が集中していた竹富、西表が低下